

2024.03.21

田村まみ参議院議員、消費者問題特別委員会で質疑！ 家電リサイクル券の電子化について



田村まみ議員、自見大臣（右）

<https://youtu.be/1QLQyTniiSE>

田村まみ参議院議員、発言抜粋

家電リサイクル券の電子化について



まみに聴かせてキャンペーンに寄せられた声

「家電リサイクルの書類等をもっとデジタル化して欲しい。」

- 家電リサイクル制度は2001年の開始以降、廃棄物削減や資源の有効利用、不法投棄の減少などに寄与してきましたが、紙伝票での対応が必要という「利便性」が課題となっています。政府がデジタル社会を目指す中、家電リサイクル手続きのデジタル化をどのように進め、消費者の利便性向上を図っていくのか、関係省庁の見解を質しました。
- デジタル庁の榊原審議官は、自治体の粗大ごみ回収手続きをオンライン化した事例紹介を通じて、住民にとっては24時間申請可能となり、また自治体職員の負担と事務コストが減少したという、オンライン化によるメリットを説明しました。
- 経済産業省の西村審議官は、①家電リサイクル券の電子化は利便性向上につながる一方、回収品との紐づけや製造業者・小売業者・消費者における運用コストの分担が課題となっていること、②これら課題について、家電製品協会が中心となって電子化の方法を検討しており、経済産業省もコミュニケーションを取りながら電子化に向けた検討を推進することを説明しました。
- デジタル化の過程でデジタルディバイドを生じさせない配慮も含めた消費者の視点もしっかり踏まえつつ対応を進めてもらうよう要請しました。